

ヒラタクワガタの分布拡大経路

DNA解析によってアジア域におけるヒラタクワガタの分布拡大経路が推定できる！



- 東南アジアで生まれたヒラタクワガタはインドシナ半島を中心として、北方の集団と南方の集団に大きく分化した。
- それぞれの集団は北進および南進を別々に繰り返して、150～500万年という長い時間をかけて地域ごとに異なる遺伝子組成を持つ個体群へと分化。
- 日本のヒラタクワガタはその末裔であり、他の個体群にはない非常にユニークな遺伝子組成を持つ。

出展：国立環境研究所生物多様性の減少機構の解明と保全プロジェクト 侵入生物研究チーム総合研究官 五箇公一氏資料